

# 学校・部活動における重大事件・事故から学ぶ研修会

～日本体育大学が「超本気」で取り組み続ける「命の授業」～



対象：教職・スポーツ指導者を目指す学生、学友会に所属する学生  
部活動事故や安全指導に関心のある学生・一般の方

時間：18時30分～20時40分 受講料：無料



## 第1回 2024年12月13日(金)

日本体育大学 東京・世田谷キャンパス 記念講堂

### ■愛知県立高校野球部パワハラ自死事件 ご遺族山田優美子さん

当時高校2年生であった山田恭平さんは2011年6月、所属する野球部での指導者による暴力的な指導を原因として、自らの命を絶ちました。仲間が壮絶な暴力を受けるのを目の当たりにし、自らも理不尽なパワハラ指導を受けていました。恭平さんの母親である優美子さんに、スポーツにおける暴力的指導が生徒の心に与える影響などについて語って頂きます。

### ■名古屋市中学部活動いじめ自死事件 ご遺族 齋藤信太郎さん

当時中学1年生であった齋藤華子さんは、2018年1月5日、部活動を中心とした中学でのいじめを苦し、自らの命を絶ちました。死亡後の生徒たちへのアンケートでは、いじめがあったことをうかがわせる回答もあったものの、学校や市の教育委員会はいじめを認めようとしません。華子さんの父、信太郎さんに「いじめによってわが子を亡くすとはどういうことか」について、赤裸々に語って頂きます。

## 第2回 2025年1月24日(金)

日本体育大学 横浜・健志台キャンパス 1402教室

### ■同志社大学/Rugby Support One 中村周平さん

2002年11月、高校ラグビー部の練習中、頸椎損傷の重傷を負った周平さんは、首から下が思うように動かなくなったものの、努力で学業に復帰し、現在、スポーツ事故と補償の問題について研究し、さらに他の事故被災者や研究者の方々と共にラグビー事故当事者同士がつながるための支援組織「Rugby Support One」を立ち上げています。研修会では、選手時代の思い出、事故当時のお話や懸命のリハビリ経験、復学時の状況などについて語って頂きます。

### ■Rugby Support One 倉原延行さん

中学時代からラグビーを続け、日体大ラグビー部に所属した後、大阪府警に勤務中、2012年12月23日のラグビーの試合中に頸椎を損傷しました。現在は車いす生活でありながらも、ラグビーへの情熱を持ち続けており、ラグビーを通じての多くの人間関係に支えられ、精力的に活動しています。研修会で古巣である日体大ラグビー部の皆さん、他の競技者の方々と、是非繋がって頂きたいと考えております。

**【お申込】専用フォーム (QRコード) からお申込みください。**

**【申込期限】第1回 12月6日(金) 第2回 1月17日(金)**

※取材やカメラ撮影等をご希望の方はお申込みと併せて取材申請手続きをお願いします。TEL03-5706-0948 (広報課)

主催/お問合せ 日本体育大学教職センター 東京・世田谷キャンパス 東京都世田谷区深沢7-1-1 TEL03-5706-0914  
横浜・健志台キャンパス 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1 TEL045-479-7355

専用フォーム

